

秋月の宵 筑前琵琶演奏会

幕末の動乱を生きた人々二

幕末の動乱を経て鎖国が終わり、外国の文化を受け入れ明治の世が始まります。多くの動乱の世を生きた人々が礎となり、文明開化の花咲く世となりました。中でも岩村藩の佐藤一斎の教えに影響を受け、平和裡に江戸城を開城した西郷隆盛の曲を2曲琵琶語りでお届けします。

月照と西郷

井伊大老による安政の大獄が始まり、西郷隆盛が尊敬する島津斉彬は兵を出そうとしましたが、斉彬は急死、攘夷派である月照と西郷は、平野國臣を伴い京より薩摩藩へと逃れます。幕府の追及を恐れた薩摩藩は月照らを日向の国へ追放しようとしています。幕府の手を逃れ得ぬと悟った二人は、船で薩摩湾に漕ぎ出し、名月のもと、平野國臣の笛や、唐歌や和歌に興じ、盃を交わしました。身の置き所のない月照を救いたいと心を尽しても、今は手立てもなく西郷は、月照と共に入水します。月照は海の藻屑となり、西郷は一命をとりとめます。

勝海舟

幕末、ペリーの来航を機に、幕府が朝廷の許可なしに外国と条約を結んだため尊王攘夷運動が盛んになりました。幕府側は、朝廷を中心とする新政府に徳川家も参加することを前提とし大政奉還を行いました。新政府は王政復古の大号令を発し、徳川家の影響を排除しようとして徳川慶喜に役職を辞任することを命じました。それに反発し戊辰戦争が勃発します。慶応四年、官軍側の西郷隆盛は、幕府側の代表である勝海舟と江戸城で会談し、戦火に人民をさらすことなく平和裡に城を新政府に受け渡し、二百六十年続いた徳川政権も終わりを告げました。

筑前琵琶演奏家
田中旭泉

TANAKA KYOKUSEN

P R O F I L E

- 昭和45年 福井にて出生。
昭和51年 琵琶の収集家であった祖父の影響を受け、矢吹旭津美師匠に琵琶を習いはじめる。
平成5年 矢吹旭津美師匠他界後、山崎旭萃師匠(重要無形文化財保持者)の直弟子となる。京都にていづ美會を主宰。琵琶奏者の登竜門となる「第30回琵琶楽コンクール」にて最年少優勝。文部大臣奨励賞、日本放送協会会長賞など受賞。筑前琵琶橋流日本橋会師範免状取得。大阪文化祭奨励賞受賞。咲くやこの花賞受賞。フランス・ドイツ公演(NHK国際ナショナル・フランス日本文化会館・ドイツ日本文化会館主催)平成6年 拠点京都から岐阜に移し、芸道の研鑽を重ねる。
平成7年 岐阜県恵那市にて、子どものための琵琶教室「子ども琵琶倶楽部」を始める。
平成8年 令和4年 岐阜県芸術文化顕彰受賞。
令和6年度

今までに、小川旭典師、箕浦旭声師、山下旭瑞師にも指導を受ける。NHKラジオ「邦楽のひととき」や古典の日フォーラム等、多数出演。娘 むい、息子 自然 との親子共演も好評を博している。岐阜県八百津町在住。



明治天皇大井行在所

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町80番地1

TEL 0573-25-7101

駐車場 大井行在所駐車場・大井小学校駐車場(臨時)

*駐車場には限りがありますので、乗り合わせ等でご来場ください。